

進捗報告書（実行団体）

事業名:	クマモトリバース
資金分配団体:	一般財団法人日本未来創造公益資本財団
実行団体名:	一般社団法人 BRIDGE KUMAMOTO
実施時期:	2021年4月～2022年 2月
事業対象地域:	熊本県
事業対象者:	熊本豪雨により被害を受けた地域の活動団体や地域住民、災害

Version 1.2
日付: 2021年10月26日

I. 事業概要

事業概要
1) 熊本豪雨で活動した民間ボランティアや社協の取組みなどを取材し、動画や記事にし、冊子とwebサイトへに纏め誰でも知ることができる環境を構築する。 これまでの活動から業種を問わず様々な企業や団体との繋がりを活かしたハイパーリンク型の災害復興支援を構築する。 2) コロナの状況次第で以下を順次行う。 ・ 球磨川での川遊びなどのアクティビティとセットにしたボランティアツアーを企画し、現地にお金落ちる仕組みを構築する。 ・ 企業の研修活動としてボランティア活動に取り組めるよう構築する。 企画力や実行力、チームマネジメント、現場の判断力、課題解決力などをボランティアを通して学び考える場を提供する。

II. 進捗報告の概要

総括
冊子作成については予定通り進んでおり、当時現地で活動していた団体や個人にオンライン取材をメインに対応している。 球磨川でのアクティビティ+ボランティアツアーについては、コロナや台風、大雨により予定よりも遅れているが、10月に一部開催予定。 また、状況イベント開催の時期が夏がメインとなるため、当初のイベント企画を冊子完成時のお披露目イベントを加えることで、作成した冊子やwebサイト、これまでに撮影してきた写真展示会などを行うことで県外の方にも改めて災害を忘れない、ということ伝えたい。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
1) 冊子や動画、サイト記事で、現地の状況を把握する人が増える。 2) レジャーを行う団体がアクティビティ×ボランティアを営業ツールの1つとして行っている。 企業や団体が被災地ボランティア活動を行っている。	1) 現状予定通り冊子作成中。個人アンケート200件以上、団体アンケート30件、オンライン取材11箇所完了、手記を28人に依頼中。ボリュームを見ながら最終調整し10月で冊子に盛り込む内容は集まり、12月中に編集完了、1月中旬に完成、配布を予定。 2月に関東で冊子や写真、動画などのお披露目イベント実施を追加検討し、写真パネルは今後も物だけ輸送して写真展ができるように設計していく。現在、イベント会場と写真パネル制作についての調整中。 2) コロナ、台風、大雨の影響により、予定が大幅に遅れている。来年のレジャーシーズンにアクティビティ+ボランティアがパッケージとして提供できるように10月で実施予定。

活動	進捗状況	概要
1. 関連各所へ企画説明、協力正式依頼 2. BRIDGEKUMAMOTO基金の助成先団体（約40団体）に趣旨説明とヒアリング実施、順次動画撮影 3. 関係各所と定期的な打合せ実施 4. 企業・団体への研修構築し順次展開 5. GWでのボランティア企画、実施 6. 発災から1年の7月3-4日（土日）で、ボランティアツアー企画 7. 夏休みでのボランティア企画、実施 8. 動画撮影後、編集・アップデート作業 9. 関係者ヒアリング実施後、編集・サイトへのアップデート作業 10. イベント会場調整、打合せ 11. 写真パネル作成、打合せ 12. 動画、サイト、冊子完成 13. 冊子配布 14. 冊子お披露目、写真展開催	ほぼ計画通り	<コロナや台風の影響で変更が生じた項目> 4. 企業・団体への研修構築し順次展開→10月に遅れて実施 6. 発災から1年の7月3-4日（土日）で、ボランティアツアー企画→芦北で開催されたマルシェに参加し状況ヒアリング 8. 動画撮影後、編集・アップデート作業→コロナの影響で遅れている 9. 関係者ヒアリング実施後、編集・サイトへのアップデート作業→冊子内容も含めてサイトにアップするため、1-2月に実施 <コロナや台風の影響で実施できなかった項目> 5. GWでのボランティア企画、実施 7. 夏休みでのボランティア企画、実施 →来年度の本格パッケージについて10月でトライアルを実施。参加者にヒアリング実施し今後の可能性を模索 <追加した項目> 10. イベント会場調整、打合せ→冊子編集長、イベント企画のボランティアインフォ、担当者とは定期打合せ実施 11. 写真パネル作成、打合せ→写真パネル制作のアマナと10月に打合せ実施 14. 冊子お披露目、写真展開催→冊子お披露目イベント会場として神楽坂のかもめブックス打診中

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>1) 『withコロナ』対応の事例として、これからの災害対応のモデルケースの概要ができています。 →アンケートや現地調査を重ねると、これからの災害対応モデルケース、というものが果たしてあるものなのかは、刻一刻とコロナへの対応も変化している状況なので、現時点では難しいと思われる。</p> <p>2) 被災地に訪れる人が増え、災害を自分ごととして考えられる人が増える。 企業や団体のCSR活動や研修の一環として、被災地へのボランティア活動が当たり前となっている。 災害で命を守る行動が取れる人、発災後に自ら行動できる人が増える。 →コロナの影響もあり、現地に訪れる人はまだ増えていない。企業研修や冊子作成を通して、熊本県内の方が現地に足を運ぶようになることを期待している。</p>	

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥10,282,600	¥10,282,600	¥1,809,243	18%
	管理的経費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
合計		¥0	¥10,282,600	¥10,282,600	¥1,809,243	18%
補足説明		9月末時点で執行率が18%だが、本来GWや夏休みに実施する予定だった現地トライアルツアーがコロナの影響でできなかったため。その分の費用を冊子お披露目イベントを2月に実施すること、また写真パネル作成が10月以降となったため後半に支出が増える状況。				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
当初、現地でのアクティビティ+ボランティア体験を通して企業研修としてパッケージ化する予定だったが、コロナの影響がとても大きく、また台風や大雨発生により大幅に予定より遅れた。そのため現地イベントだけでなく、冊子完成後にお披露目イベントを関東で行うことを追加したことにより、予定外の調査や打合せ、制作物が増えることで資金計画書の内訳が変更している。

VII. その他

自由記述
特になし

VIII. 広報実績

広報内容	有	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	7/4の災害から1年の節目にPT TIMESで、匿名アンケートについてリリース実施 https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000018.000031868.html
広報制作物等	無	
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	